

八溝山周辺地域定住自立圏の取り組みは

町 広域的な事業実施に向けた連携に努める

問 2市6町による事業の取り組みはどのように進められているか。

町長 共生ビジョンに基づいて、大田原市が中心に事業の連携をしている。

問 185万円の負担金の使い方、成果はどのように表れているか。

企画財政課長 ホームページなどを立ち上げ、住民や

来訪者に広く情報を発信している。

圏域内のこども達を対象にスポーツ教室などを開催し、交流人口の増加につながっている。

問 八溝山周辺は、第一次産業衰退が原因で近隣の活気が失われている。広域連携で活性化の方策ができないか。

企画財政課長 貴重な意見として内容を検討したい。

問 今後の取り組みとして道の駅の連携や、八溝山サミットなどの企画を提案できないか。

企画財政課長 広域的に効果が表れるものを、開催していきたい。

水道事業、今後の進めかたは

町 健全経営に努め、収支バランスを考慮したい

問 新規給水地域の計画は。

上下水道課長 成沢地区の事業に取り組み、今後は水原地区まで進め、さらには山中、寄居地区へ進めたい。

問 事業費の捻出と費用は。

上下水道課長 水道料金、加入金、国庫補助金、企業債等で効率的な運営を図る。

問 老朽化した送水管、配水管の耐震化の状況と改善計画は。

上下水道課長 水道ビジョンを見直し、長寿命化計画と合わせて、今後、耐震化も盛り込んでいきたい。

問 莫大な水道事業費が見込まれる中で、水道料

金の値上げは考えているのか。

上下水道課長 新たな消費税改正の動向を踏まえながら、健全経営に努め検討する。

問 既存の水道施設を利用して、小水力発電の売電で、収入の補てん事業ができないか。

上下水道課長 精査をし、今後検討する。

室井高男



進む、老朽水道管の敷設替え工事



平成26年1月に行われた協定締結